

19990495

平成 11 年度厚生科学研究費補助金（新興・再興感染症研究事業）による

「感染症週報改善のための研究」
研究報告書

平成 12 年 3 月

主任研究者：谷口 清州

研究班構成

主任研究者 谷口 清州 国立感染症研究所感染症情報センター
感染症対策計画室 室長

班員 岡部 信彦 国立感染症研究所感染症情報センター センター長
小坂 健 国立感染症研究所感染症情報センター 研究員
進藤奈邦子 東京慈恵会医科大学内科学講座第2 助手
国立感染症研究所感染症情報センター 協力研究員
樋口 薫 樋口小児科医院
宮塚 幸子 東京慈恵会医科大学小児科学教室 助手

I. はじめに

感染症対策を行う場合に最も重要なことは、効果的なサーベイランスにより疾患の発生状況を早期に、かつ的確に捉え、それらを速やかに関係者に提供して対策につなげることである。1999年4月1日の「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（以下感染症法）施行に伴って、旧伝染病予防法では法律に規定されていなかった感染症発生動向調査が法律において明確に規定され、調査システム自体も大幅な見直しが行われた。同時に、これまでは、Web content として提供していた発生動向調査情報を、週単位でまとめて公式な感染症発生動向調査週報（「感染症週報」）として提供することとなった。

可能な限り迅速に情報還元を行う手段として、迅速に還元できること、グラフや写真、図などを組み込んで視覚的な情報提供が行えること、印刷しても読みやすいことなどより、Portable Document File (PDF)を使用した電子配信方式を選択した。この方法は、発行者からみれば、印刷および郵送に関わる時間とコストを削減できるが、読者にとってはある程度のコンピュータの知識が要求され、印刷物として利用したい場合には読者自身がプリントアウトしなければならないという負担が生じる。このようなスタイルでの公的刊行物の発行経験は感染症の分野では初めてであり、今後様々な角度から問題点をとらえ、改善に向けて対処していかなければならない。

今回平成 11 年度厚生科学研究費補助金の交付を受けて、この感染症週報の発行後の実態を捉え、さらなる改善にむけて、感染症週報がその読者として対象とする、地方公衆衛生行政担当者、第一線の保健医療機関の感染症担当者（開業医を含む）などに対して、現行の感染症週報に関わる実態/要望調査を実施した。

本報告書では続く第Ⅱ章で感染症週報についての概要を述べ、第Ⅲ章で感染症週報に関わる実態・要望調査についてその方法と集計結果を報告する。調査の結果を真摯に受け止め、より効果的な情報提供に向けて今後改善すべき点について最後の章にまとめた。

Ⅱ. 感染症週報の概要

Ⅱ-1. 感染症週報の沿革

国立感染症研究所感染症情報センターが1997年4月に発足し、6月に旧感染症疫学部として提供してきた病原微生物検出情報のホームページに、新たに提供を開始した contents を加えた 感染症情報センターのホームページが立ち上がった。以来、情報センターではこのホームページを通して感染症発生動向調査の集計結果を始めとする様々な感染症関連情報の提供に努めてきた。1999年4月の感染症法施行に合わせ、これまでホームページ内で個々に広報していた情報をひとつのまとまった週報として、Portable Document File (PDF) により提供することとなった。感染症週法の通巻第1巻第1号を巻末に添える。

感染症法では、人権に配慮して、法による強制的な患者の隔離や入院については、これを定めていない。国民は各人が「感染症に関する正しい知識を持ち、その予防に必要な注意を払うよう努め（感染症法第1章第4条）」なければならない。それを可能にするために、国としては感染症に関する十分な情報を提供していく必要がある。感染症週報は、感染症に関する総合的な情報を定期的に広報する媒体として重要であるとの認識に基づき、さらなる内容と機能の充実が急務となった。厚生省と国立感染症研究所双方の取り組みにより、2000年第1号（通巻第2巻第1号）より、スタイルが一新され、その後も様々な改善が加えられ、現在に至っている。

Ⅱ-2 サンプル

巻末に感染症週報を綴じ込む。

週報 サンプル （通巻第1巻第1号）

Ⅱ-3 現行の週報の内容について

現行の感染症週報は、アドビ社の規格に基づく Portable Document File (PDF) にて作成されている。この形式は米国、英国などをはじめとして多くの先進諸国で感染症情報の発信媒体として採用されており、電子印刷物としてはきわめて一般的な方法である。閲覧に必要なソフトウェアは無料で入手でき、電子媒

体であるために、発行と同時に世界中どこからでも入手でき、また、印刷したときにも見たままが印刷物として出力できるのが大きな利点である。

本週報は、表紙に本文内容の小見出しを付け、ファイル内リンクにより、表紙から各記事に飛ぶことが出来る。内容は、当該週の感染症流行状況の概説とともに、理解を助けるために過去の同時期との比較グラフ、時系列トレンドを見るための過去10年間の時系列グラフを挿入し、特に注目すべき疾患情報、季節的な流行疾患の状況、およびそれにあわせた病原体の分離状況を解説している。また国内で重要な疾患のアウトブレイク、あるいは感染症にかかわる情報がでた際には、これを提供するとともに、昨今の交通と流通の国際化にあわせて、世界の感染症流行にかかわる記事を掲載している。

情報提供の一環として、毎週ひとつの感染症を取り上げ、専門家による解説記事を掲載し、読者からの質問コーナーを設けて、種々の感染症にかかわる疑問にも対応できるよう考慮している。巻末には実際の報告数自体を知りたいとの要望により毎週の実際のデータを収録している。

なお、この「感染症週報改善のための研究」は、主任研究者谷口を中心に、分担研究者の岡部、小坂、進藤、樋口、宮塚が共同で本研究報告を作成した。

Ⅲ. 感染症週報に関わる実体・要望調査

Ⅲ-1 調査の目的

これまで述べてきたような形で感染症週報を発行して以来約1年が経過し、この間にも種々の変更が加えられてきたが、一方で、印刷物配布や電子メールでの送信を望む声もあり、今後、より広くニーズに対応していかなければならない。本研究では、種々の情報提供方法の得失を比較検討するとともに、実際に感染症対策の第一線にいる関係者の要望を調査して、より効果的な情報提供方法を模索し、今後の国レベルでの感染症週報を含む情報提供方法の改善に資することを目的とする。

Ⅲ-2 調査方法

感染症週報がその読者として想定する、地方公衆衛生行政担当者、地方衛生研究所、保健所、第一線の保健医療機関の感染症担当者（開業医を含む）を対象として、現行の感染症週報に関わる実態/要望調査を実施した。また、感染症週報は、実地臨床医家への啓発・情報提供をも目的としているため、都道府県、保健所、地方衛生研究所だけでなく、これらの機関を通じて医師会や医療機関へのアンケート調査配布を行った。

アンケートの内容は、それぞれの機関でのインターネット、WISH ネット (Wide-area Information-Exchange System for Health and Welfare Administration:厚生省と保健所、地方衛生研究所など関連機関を結ぶコンピューターシステム)、www.wish (インターネット上のWISH非公開サイト) などへの接続状況、感染症週報の認知の有無、PDFファイルのダウンロード状況などの実態調査に加え、それぞれの使い心地、接続環境に関する周辺知識の有無、週報の内容(感染症発生動向調査、海外感染症情報)、視覚的効果などに関することを盛り込んだ。

次ページ以降に実際にアンケートに用いた調査票を綴じる。

Ⅲ-3 集計結果

集計結果をまとめたものを、調査票に続けて綴じる。

V. まとめ

感染症発生動向調査はすでにオンライン化されており、感染症法の施行以来、対象疾患について保健所単位での報告が WISH ネットを介して行われている。アンケートの結果、解答のあった全ての地方衛生研究所で WISH ネットの接続が可能になっていることが確認された一方、一部の保健所と都道府県で接続されていないことがわかった。したがって一部の保健所では、感染症発生動向調査の結果入力を地方衛生研究所などの外部機関に依存しており、インフラの問題によりネットワークからはずれているところがある可能性があることが把握できた。

感染症発生動向調査に関わる部署におけるインターネットの普及率は高く、都道府県、地方衛生研究所、保健所では全体のほぼ 9 割でインターネットの接続が可能であった。それに対し、インターネット接続の可能な医療機関は 7 割弱であった。イントラネットである WISH は、現行のパソコン通信スタイルのテキストのみの情報伝達から、ウェブサイト上に視覚的・機能的多様性を持つ情報を盛り込んだ WWW.WISH への移行が進んでいるが、WWW.WISH の導入は地方衛生研究所で最も進んでおり（約 90%）、次いで都道府県（80%）、保健所（75%）の順であった。（したがって都道府県単位での感染症発生動向調査の集計結果は、ほとんどの保健衛生行政関連機関で約 1 週間後に WISH ネット端末からダウンロード可能な状況であることが確認できた。）かっこ内意味不明です。

インターネット上感染研ホームページからの感染症週報(PDF 版)ダウンロードに関しては、容量の大きさによる障害や、プリントアウト時のトラブルなどが少数ながら起こっていることがわかった。

感染症対策の地方分権に伴い、中央感染症情報センターに求められているのは、スタンダードとなる疫学情報とその処理方法の提示をはじめ、海外感染症情報やトピックス疾患に関する情報提供など多岐にわたり、しかもタイムリーな情報の還元・提供が強く求められていることがわかった。また、感染症週

報の認知についてはまだ広報が不十分で行き渡っていないという意見が多数認められた。感染症週報の発行を知ってはいるが、時間がなくて目を通せないという意見も多く、今後、より簡便に閲覧できる方法の検討が必要であることが示唆された。

・研究により得られた成果の今後の活用・提供

- 1、感染症週報の存在を広く認知してもらうため、地域での研修、研究会などにおいて感染症週報の広報活動を行う。
- 2、医療機関ではインターネットによる情報を取り込めないところが約 3 割にのぼる。インターネット利用者以外の実地医家への情報提供について、地域でのネットワークを使った提供、FAX サービス、紙媒体などによる情報の提供を検討する。
- 3、PDF ファイルの容量が多く負担になっていたり、時間がなくて通常のダウンロードやプリントアウトによる感染症週報の獲得が難しいユーザーに対しては、必要なところだけ閲覧できる「栞機能」の付加や、HTML 形式による週報情報の提供に関して検討し、選択の幅を広げ、よりユーザーフレンドリーな配信方法を取り入れていく。
- 4、検疫所や海外機関との連携を密にし、海外情報の迅速かつ正確な収集と還元提供を目指す。

本研究は、平成 11 年度厚生科学研究費補助金（新興・再興感染症研究事業）を受けて行われた。この場をお借りして本研究の主旨に賛同し、アンケートに御協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

感染症週報 (IDWR) に関わる実態・要望調査 (合計表裏 2 ページ)

記入日 (平成 12 年 月 日)

記入者 (都道府県・保健所・地衛研・医療機関) 記入者の職名 ()

- あなたの職場にてインターネット接続が可能ですか? (はい・いいえ)
- あなたの職場にて WISH ネット接続が可能ですか? (はい・いいえ)
- あなたの職場にて WWW-WISH に接続が可能ですか? (はい・いいえ)
- 感染症週報を読んだことがありますか? (ある・ない)

●読んだことのない方におたずねします。その理由をお教えてください。

(興味がない・時間がない・ダウンロードできない・ダウンロードしたが読めない・その他)

(具体的に:)

●読んだことのある方、ない方両方におたずねします。

もっと読まれるようにするためにはどうしたらよいと思いますか。

(もっと広報する・ファイルを定期的に送る・より軽いファイルにする・印刷物にする・より興味のある内容にする・その他)

(具体的に:)

●印刷物が欲しい人には印刷物を郵送できるようにしてほしいとのご意見がありますが、印刷物としての発行が必要だと思いますか。(必要・不要) 理由:

●印刷物を発行した場合、無償配布対象以外には、有償にて配布するという意見がありますが、もしあなたが無償配布の対象に入らない場合には、購入しますか。するとしたら価格はどのくらいが妥当と考えますか。(購入する・しない) (価格:)

以下は、読んだことのある方のみお答えください。

●全体の構成について (よみやすい・よみにくい・要望あり)

(具体的に:)

●項目別内容についてご意見を下さい。

発生動向総覧 (参考になる・あまり参考にならない・改善すべき)

(具体的に:)

注目すべき感染症 (参考になる・あまり参考にならない・改善すべき)

(具体的に:)

—裏面に続きます—

- 病原体情報 (参考になる・あまり参考にならない・改善すべき)
 (具体的に:)
 IASR からの速報 (参考になる・あまり参考にならない・改善すべき)
 (具体的に:)
 海外感染症情報 (参考になる・あまり参考にならない・改善すべき)
 (具体的に:)
 感染症の話 (参考になる・あまり参考にならない・改善すべき)
 (具体的に:)
 読者のコーナー (参考になる・あまり参考にならない・改善すべき)
 (具体的に:)
 グラフ総覧 (参考になる・あまり参考にならない・改善すべき)
 (具体的に:)
 データ総覧 (参考になる・あまり参考にならない・改善すべき)
 (具体的に:)

●今後項目としてとりいれた方がよいと思われる内容がありましたらご記入ください。

()

●PDF 形式であることについての得失についてご意見をください。

利点は、(迅速に発行できる・どこからでも入手できる・コンピュータ上で編集できる・その他)

(具体的に:)

欠点は、(ファイルのダウンロードが面倒・ファイルを開くのが難しい・ファイルが重い・その他)

(具体的に:)

総合的に、(許容できる・できない) 理由:

●PDF ファイルが重いので、図表をはずして、文章だけのテキストバージョンを発行すべきとの意見がありますが、この必要性について

(テキストバージョンが必要・不要) 理由:

●内容は見たいが、だれもが全ての内容をみたいとは限らないので、いちいち PDF をダウンロードしなくても済むように、内容をホームページ上で掲載してほしいとの要望がありますが、

(同じ内容をホームページ上に掲載が必要・不要)

●これら以外に、感染症週報に関しまして、ご意見・ご要望がございましたら、以下にご記入いただければ幸いです。

()

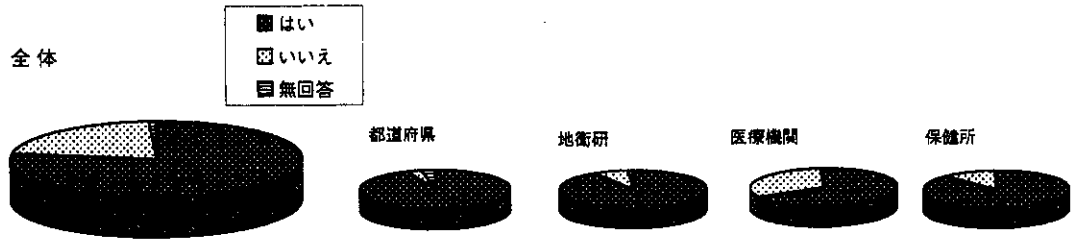
ご協力ありがとうございました。

感染症週報 (IDWR) に関わる実態/要望調査

回収アンケート数:	全体	都道府県	地衛研	医療機関	保健所
	1026	64	81	532	324

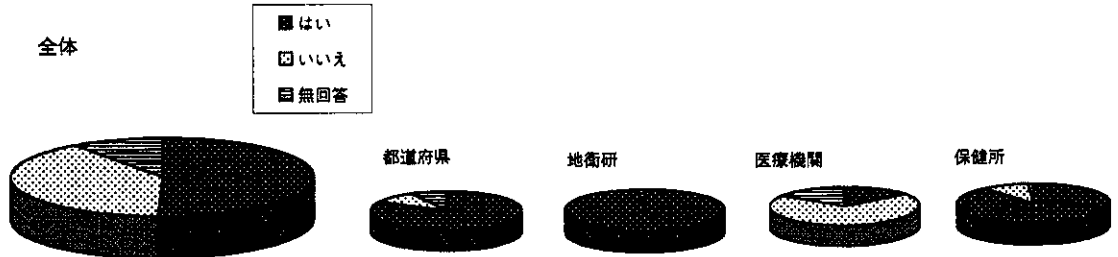
Q1 あなたの職場にてインターネット接続は可能ですか？ (はい/いいえ)

	全体	都道府県	地衛研	医療機関	保健所
はい	77.8%	93.8%	91.4%	67.7%	88.0%
いいえ	21.3%	3.1%	7.4%	31.8%	11.7%
無回答	0.9%	3.1%	1.2%	0.6%	0.3%



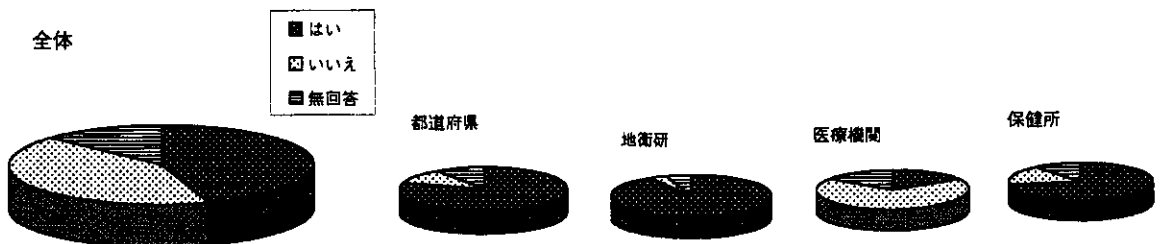
Q2 あなたの職場にてWISHネット接続は可能ですか？ (はい/いいえ)

	全体	都道府県	地衛研	医療機関	保健所
はい	50.5%	82.8%	98.8%	15.4%	89.2%
いいえ	40.0%	9.4%	0.0%	68.8%	9.6%
無回答	9.6%	7.8%	1.2%	15.8%	1.2%



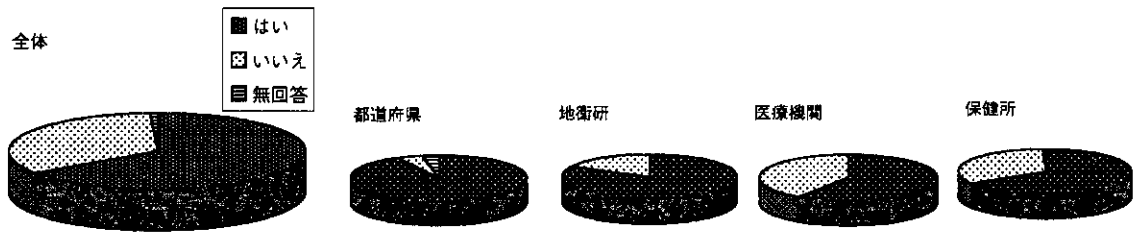
Q3 あなたの職場にてWWW-WISHに接続は可能ですか？ (はい/いいえ)

	全体	都道府県	地衛研	医療機関	保健所
はい	45.1%	79.7%	91.4%	16.7%	73.1%
いいえ	42.1%	10.9%	3.7%	67.9%	16.4%
無回答	12.8%	9.4%	4.9%	15.4%	10.5%



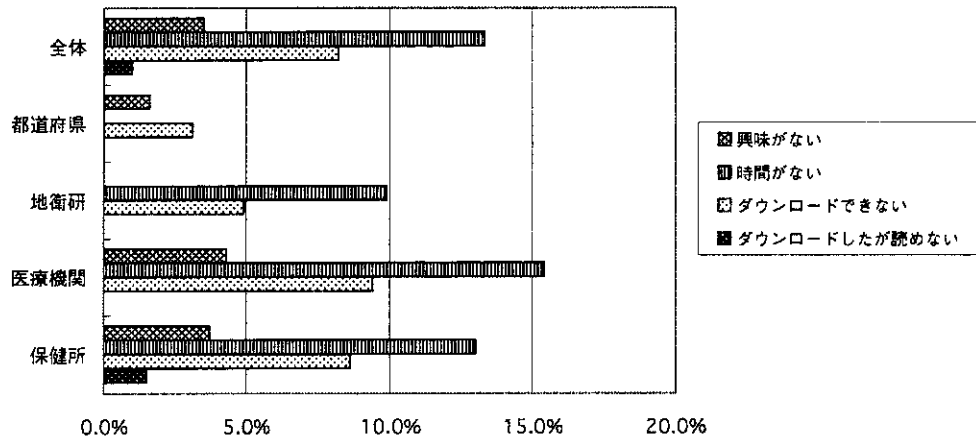
Q4 感染症週報を読んだことがありますか？（ある／ない）

	全体	都道府県	地衛研	医療機関	保健所
はい	65.2%	92.2%	82.7%	59.4%	66.0%
いいえ	34.0%	4.7%	17.3%	40.6%	33.3%
無回答	0.8%	3.1%	0.0%	0.0%	0.6%



Q5 読んだことのない方にお尋ねします。その理由をお教えてください。

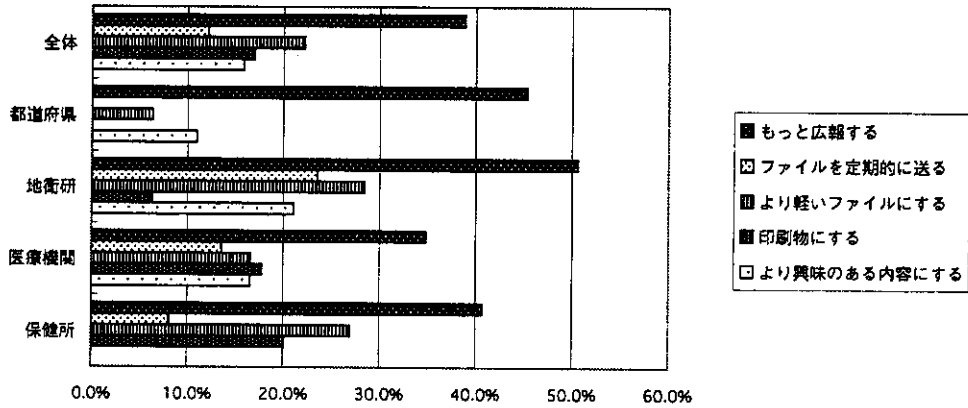
	全体	都道府県	地衛研	医療機関	保健所
興味がない	3.5%	1.6%	0.0%	4.3%	3.7%
時間がない	13.3%	0.0%	9.9%	15.4%	13.0%
ダウンロードできない	8.2%	3.1%	4.9%	9.4%	8.6%
ダウンロードしたが読めない	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%



- 具体的なアクセス方法が不明
- 存在を知らなかった
- 地域の週報がファックスで届くのでそれで十分と思う
- 県の感染症情報と日本医事新報の速報で間に合っている
- パソコン操作について一度も詳しく研修を受けたことがない。PDFと聞いても何のことかわからない。
- ダウンロードのしかた（マニュアル）がほしい

Q6 読んだことのある方、ない方両方にお尋ねします。もっと読まれるようにするためにはどうしたらよいと思いますか。

	全体	都道府県	地衛研	医療機関	保健所
もっと広報する	38.8%	45.3%	50.6%	34.8%	40.7%
ファイルを定期的に送る	12.1%	0.0%	23.5%	13.5%	8.0%
より軽いファイルにする	22.1%	6.3%	28.4%	16.5%	26.9%
印刷物にする	16.9%	0.0%	6.2%	17.7%	20.1%
より興味のある内容にする	15.8%	10.9%	21.0%	16.5%	0.0%

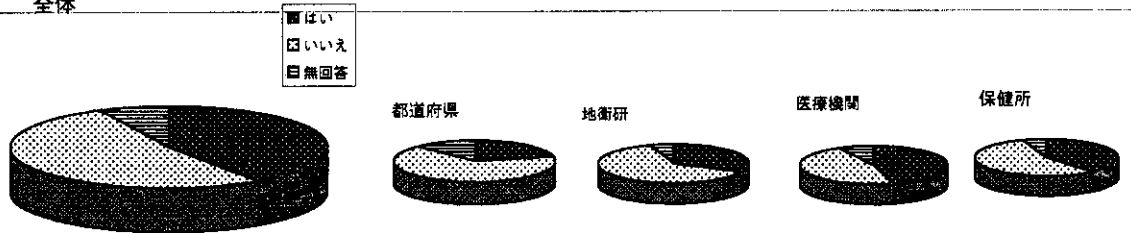


- 専門分野が感染症でない人にも興味を持てるようにする。一見して分かりやすいようにする
- もう少しはやく情報がほしい（大変と思いますが）
- 新聞、テレビの報道が感染症週報がもとになっているのなら、そのことを記載させるべきである
- 速報と専門的情報を区別してほしい
- 医療機関、特に定点宛の情報提供をお願いしたい
- URLを周知させる。知っていれば参考にしたい
- MMWRのように現象があった→分析して対策を行った→結果としてこうなったという公衆衛生的見地からの具体的な記載をふやす
- 予防接種のコーナーを早急に充実させてください
- 県単位では年齢別患者数を出しているのですが、全国版でも出来ませんか。
- もっと読まれるようにする必要はないのでは
- 注目すべき感染症、病原微生物検出情報等を定点以外の病院の先生方に読んでいただけたらと思います

Q7 印刷物が欲しい人には印刷物を郵送できるようにしてほしいとの御意見がありますが、印刷物としての発行が必要だと思いますか？（必要／不必要）

	全体	都道府県	地衛研	医療機関	保健所
はい	40.5%	21.9%	32.1%	45.5%	38.6%
いいえ	52.3%	65.6%	63.0%	46.8%	55.9%
無回答	7.1%	12.5%	4.9%	7.7%	5.6%

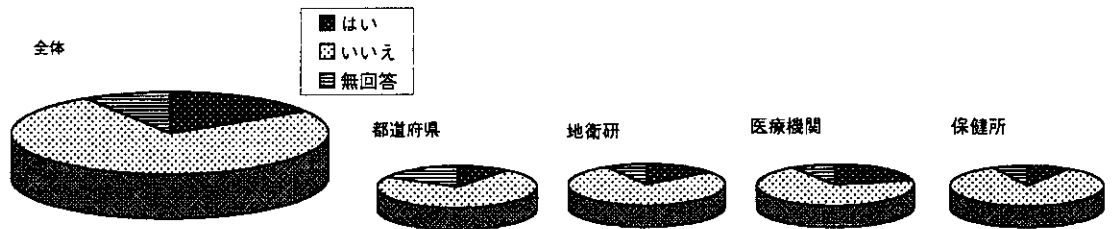
全体



- 冊子にしてしまうと見ないことが多い。
- 即時的かつ検索しやすいほうがいい
- 個人開業等の先生方の中にはパソコン、インターネット等を使われていない先生も多いというのが現状だと思います
- 待ち合い室等に置き、患者や家族が読むことができる
- じっくり見ることができる
- 年度別の比較がしたい
- 必要なものをダウンロードできるような環境を構築するのが先決
- ペーパーレスの時代

Q8 印刷物を発行した場合、無償配布対象以外には、有償にて配布するという意見がありますが、もしあなたが無償配布の対象に入らない場合には、購入しますか。するとしたらどのくらいが適当と考えますか。（購入する／しない）（価格： ）

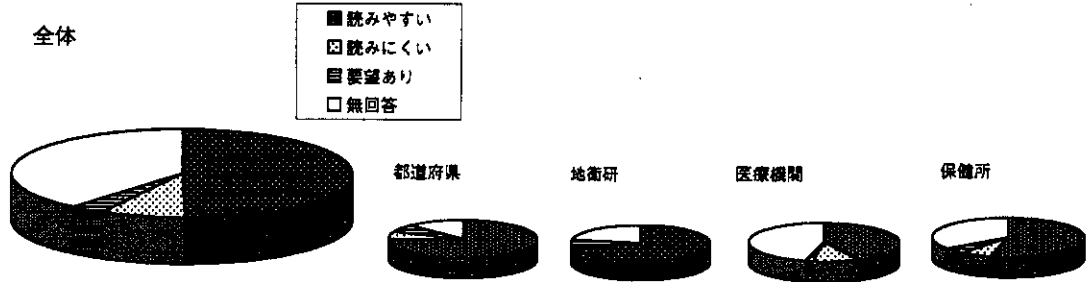
	全体	都道府県	地衛研	医療機関	保健所
はい	16.5%	10.9%	14.8%	21.6%	9.3%
いいえ	74.6%	71.9%	76.5%	69.2%	83.6%
無回答	9.0%	17.2%	8.6%	9.2%	7.1%



- なるべく低価格に
- 年報1万円以内
- 100円
- テキストバージョンとグラフバージョンの二本立てにすると購入しやすくなる
- 希望者には無償配布すべき
- 原価＋郵送料＋手数料
- インターネットと同じ内容であれば、購入しない

Q9 全体の構成について

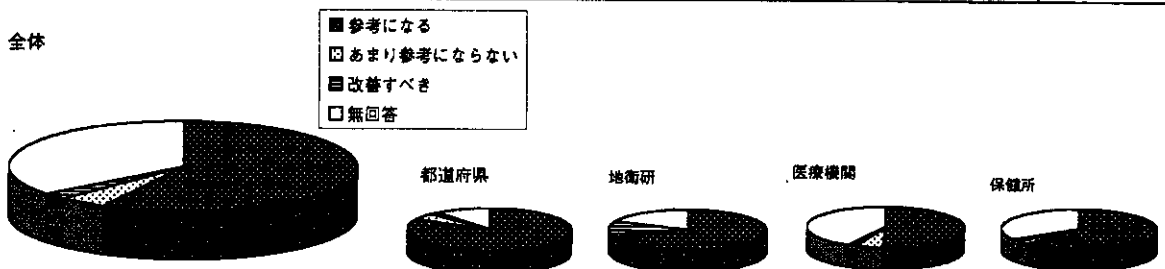
	全体	都道府県	地衛研	医療機関	保健所
読みやすい	49.6%	75.0%	69.1%	42.1%	53.7%
読みにくい	8.2%	6.3%	2.5%	10.2%	6.2%
要望あり	3.4%	6.3%	6.2%	1.5%	5.2%
無回答	38.8%	12.5%	22.2%	46.2%	34.9%



- 画像を減らし、早くページを移動できるようにしてほしい。
- データ、グラフが見にくい
- 専門家以外が読んでもよくわからないのではないか
- 表題がどうしてあんなに真っ黒なのか、トナーのムダ
- コメントが重要と考えます
- 文章の間隔をあげたり、レイアウトを読みやすくしてほしい
- 日常の診療の役に立つ
- リンクで関連情報を検索できるとありがたい。(例えば、ある週のHIV報告に関連しての全国累積数)
- 1) 各都道府県内の状況も選択によって表示できるようにしてほしい。2) 編集方法の説明を画面上のヘルプキー等で表示できるようにしてほしい。
- 最後についている表は動向調査還元データにあるので不要
- 様式がみんな同じ形式なので違いが分かりにくい(男女、合計等)
- 国内外の新しい感染症情報や解説している感染症の話などバランスがとれている
- フレームがついただけでも見やすさが大幅に増えた
- 「最近の注目疾患－5週間の動き」は「4類感染症」の中に含めてコメントした方がよみやすい
- SRSV, Rota 感染症は一括して感染性胃腸炎の中に入れて別々に記載してほしい
- リニューアル版となって読みやすくなった。

発生動向総覧

	全体	都道府県	地衛研	医療機関	保健所
参考になる	57.6%	82.8%	69.1%	50.6%	61.7%
あまり参考にならない	4.3%	4.7%	2.5%	5.5%	2.8%
改善すべき	2.2%	1.6%	9.9%	1.7%	1.5%
無回答	35.9%	10.9%	18.5%	42.3%	34.0%

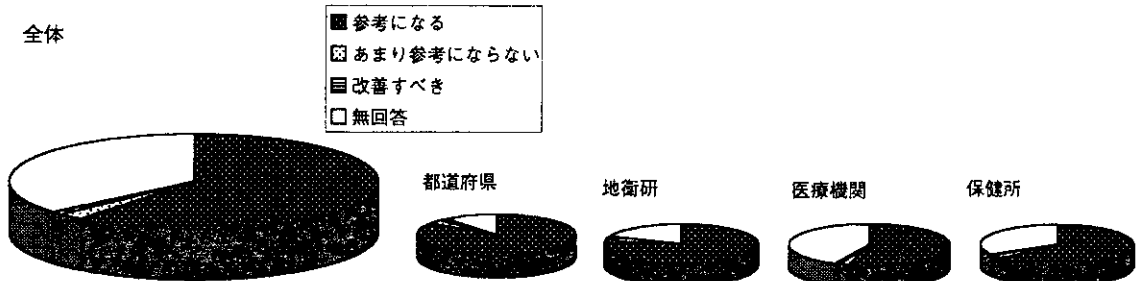


- インフルエンザ等、時期的に注目される感染症のグラフで一目瞭然である
- 過去5年間との比(log)は理解できない。

- 全数報告は必ず目を通す。4類のグラフも参考になる。最近の注目疾患は少し改善してほしい。
- 参考になる。ただし還元されてくるのが遅い。
- 全体的に文字が多く、グラフがわかりにくい
- 5年間との比較グラフで「0」（基線）「-」（減）をもっと強調した方がわかりやすいのでは？
- 診療中、身近に感染症が発生しておれば診断の助けになります
- 2類は菌型と発症地区がわかると参考になる
- リアルタイムではない。近くのドクターとの会話の方がまだリアルタイム
- 地域ブロック別についても説明がほしい。また全体的に過去の動向との比較や流行予測調査事業なども含めた解析があるとよいと思う
- 定点把握（4類）感染症の項目は、最も関心のあるところなので、もっとページ数をふやし、詳細に解説してほしい。
- 県の情報と比較検討しやすい
- 厚生省の生データに比べ、1週間遅れる。特異なことがないと毎週似た内容となっている

注目すべき感染症

	全体	都道府県	地衛研	医療機関	保健所
参考になる	60.6%	84.4%	76.5%	54.1%	63.0%
あまり参考にならない	2.3%	3.1%	1.2%	2.1%	3.1%
改善すべき	0.9%	1.6%	3.7%	0.8%	0.3%
無回答	36.2%	10.9%	18.5%	43.0%	33.6%

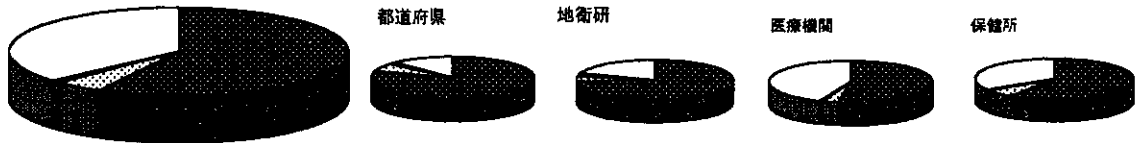
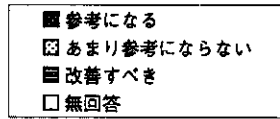


- 最近MCLSが削除されたのでできれば流行の有無を知りたい。
- 今季のインフルエンザA型は今までより二峰性発熱が多いと思われたが、感染症情報からはその面が判断できない。
- ニパウイルス
- 色分けされているので見やすい
- 時期の状況、傾向がよくわかる
- 地図が小さくて色分けが見にくい。
- インフルエンザ、腸炎、流行性耳下腺炎等
- 手許に届いた時点では流行状況が変化していることが多い
- 統計的な説明に留まらず具体例を挙げてトピックス的な話題も提供してはどうか
- もっと学校等、集団が知りたいところ
- 流行状況がまとめられてよくわかる。年齢別の帯グラフも加えてほしい
- 一般の人たちに対する注意点などについても、書いていただけるとよいと思う。
- 流行状況の数学的解説だけでなく、トピックスの最新治療情報など、それに附随する内容も入れてほしい

病原体情報

	全体	都道府県	地衛研	医療機関	保健所
参考になる	57.9%	79.7%	74.1%	52.4%	59.3%
あまり参考にならない	4.5%	6.3%	3.7%	3.4%	6.2%
改善すべき	0.8%	1.6%	2.5%	0.6%	0.6%
無回答	36.8%	12.5%	19.8%	43.6%	34.0%

全体

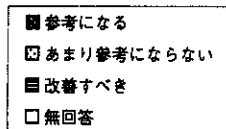


- 流行をみて感冒の説明が詳しくできる
- もっと多検体、他地域の状況がはやく欲しい
- 問い合わせに応じるとき、参考になる
- 「病原体検出情報」と一本化してはどうか
- ウイルスに関しては検査方法から制限があり、即時性がない
- 薬剤感受性等まで広げてほしい
- IASR からの速報程度の具体的内容があるととても参考になります
- 病原体検出情報そのものについて；各地研の積極性に違いがある（報告日、検出状況）、情報収集が地研のみに限られ、地域の医療状況を正確に反映していないのではないか。基幹定点からの検出情報も病院情報として別に収集、還元してはどうか
- ヘルパンギーナでエコーウイルス分離されても記載されてこない。PSウイルス、パラインフルエンザウイルスの情報ほとんどない。
- 胃腸炎がロタなのかSRSVなのか、インフルエンザがAなのかBなのか分かり大変役に立つ
- 医療機関から問い合わせがあったときに、回答の参考になる

IASR からの報告（速報）

	全体	都道府県	地衛研	医療機関	保健所
参考になる	51.1%	73.4%	70.4%	43.0%	55.6%
あまり参考にならない	7.2%	7.8%	6.2%	8.3%	5.6%
改善すべき	0.5%	1.6%	0.0%	0.4%	0.6%
無回答	41.2%	17.2%	23.5%	48.3%	38.3%

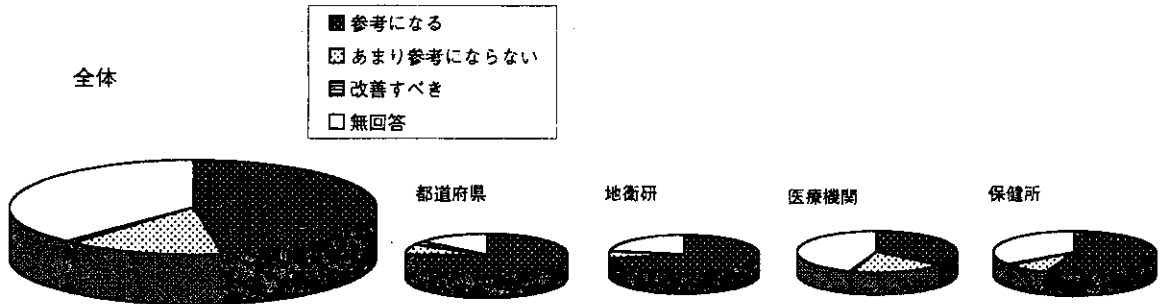
全体



- 特にインフルエンザ、ロタの流行の確診に
- 月報で見ているのであまり必要ない
- 具体的な検査法が示されているため
- 特別区の地研のため、業務との関係は薄く内容が参考になる場合がある
- 「速報」なので、内容が少々簡素化してもなるべく速い段階でのるとさらによい
- 文章が多い。図表を取り入れてほしい

海外感染症情報

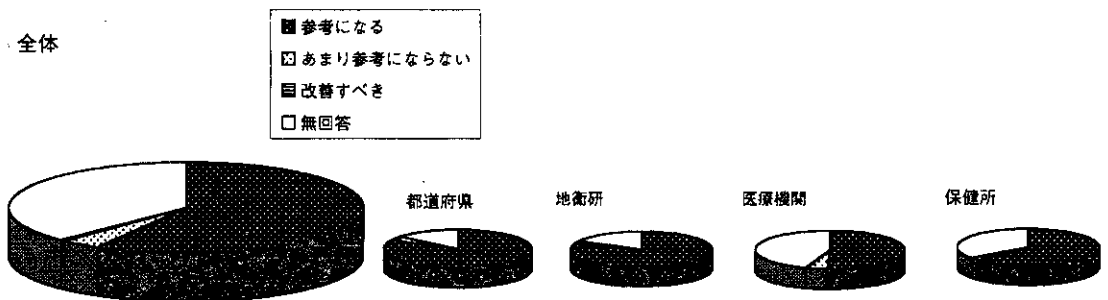
	全体	都道府県	地衛研	医療機関	保健所
参考になる	47.5%	75.0%	71.6%	35.9%	55.9%
あまり参考にならない	13.8%	7.8%	4.9%	19.0%	8.3%
改善すべき	1.0%	3.1%	1.2%	0.6%	1.2%
無回答	37.7%	14.1%	22.2%	44.5%	34.6%



- 具体的な予防策、問い合わせ先を書いてほしい
- すべての国から感染情報を取りだせるようにしてほしい。当院、渡航相談が多いです。
- 現時点では流行の菌のタイプが異なることあり。来年以降は日本でもあてはまるかもしれない
- 汚染地域を図示する。また旅行者に対する予防接種の情報も入れる
- 検疫所で出ている「病原体検出情報」と一本化してはどうか
- 市民に予防接種の必要性を説明するときに役立つ
- 日本では馴染みのない感染事例等、興味深い

感染症の話

	全体	都道府県	地衛研	医療機関	保健所
参考になる	58.3%	82.8%	77.8%	50.6%	62.3%
あまり参考にならない	3.7%	3.1%	2.5%	4.3%	2.5%
改善すべき	0.5%	0.0%	2.5%	0.4%	0.3%
無回答	37.5%	14.1%	17.3%	44.7%	34.9%

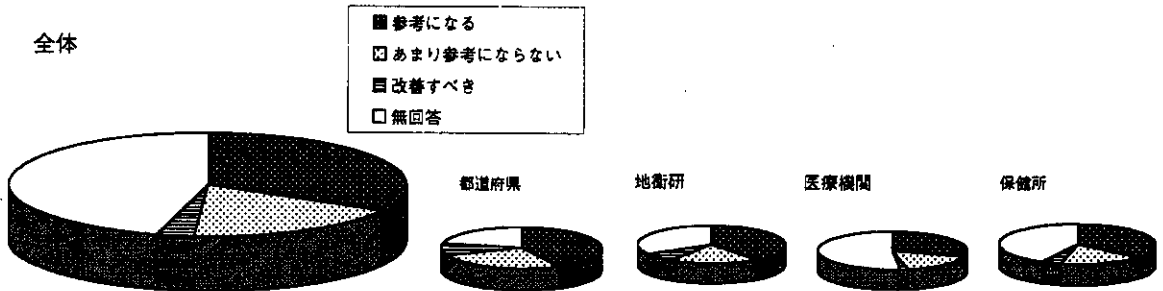


- どの号にどの感染症が掲載されているか、索引があれば便利
- 回を重ねるごとに特殊なものになってきている
- 医師の立場から見ても参考になる
- 1ヶ月で一つの感染症で十分と思いますが
- 総論的な構成の他に、「疫学」「病原体」などの項に絞った話もよいと思う。
- 各疾患に関する最新データを含めると有益性がある
- 話題が広すぎる
- もっとも熱心に読むページでもある
- 一般の人にも分かりやすい解説コーナーを別に設けたらよいと思う。専門家向けにはもう少し臨床症状等診断の助けになる様々な解説があると便利です
- ひとつとおり済んだら本にしてください

読者のコーナー

	全体	都道府県	地衛研	医療機関	保健所
参考になる	33.0%	42.2%	39.5%	29.7%	36.1%
あまり参考にならない	18.1%	26.6%	19.8%	17.1%	17.3%
改善すべき	3.1%	9.4%	7.4%	1.5%	4.0%
無回答	45.7%	21.9%	33.3%	51.7%	42.6%

全体

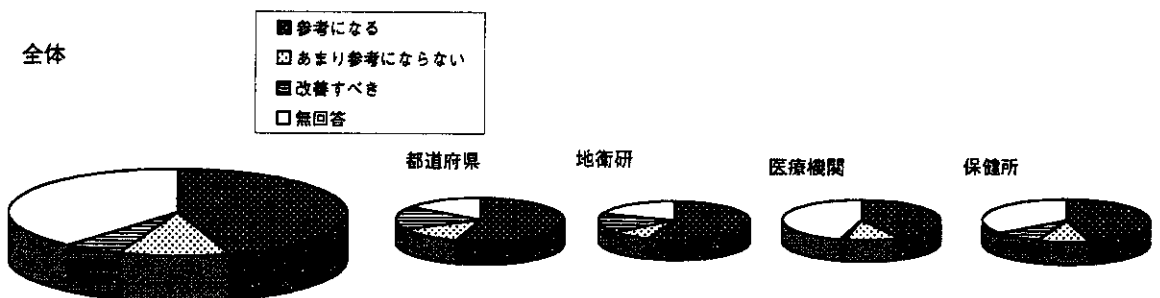


- 質問等、掲載されないことが多い。
- 専門家なら質問しないと思うし、初心者は何を聞いていいかわからない。
- 意見、質問を出しても取り上げられないため、意味がない。現行の編集方針が続くならファイルを軽くするため、1ページ削除するべきである
- PR すればこれから普及すると思われる
- こちらからアプローチできるコーナーがあることは、心強いと思う
- 寄稿されたメールとそのレスのアーカイブを「感染症FAQ」のような形で公開してはどうか

グラフ総覧

	全体	都道府県	地衛研	医療機関	保健所
参考になる	44.9%	54.7%	55.6%	41.9%	45.5%
あまり参考にならない	10.6%	12.5%	8.6%	11.3%	9.9%
改善すべき	5.7%	17.2%	16.0%	1.3%	9.3%
無回答	38.8%	15.6%	19.8%	45.5%	35.2%

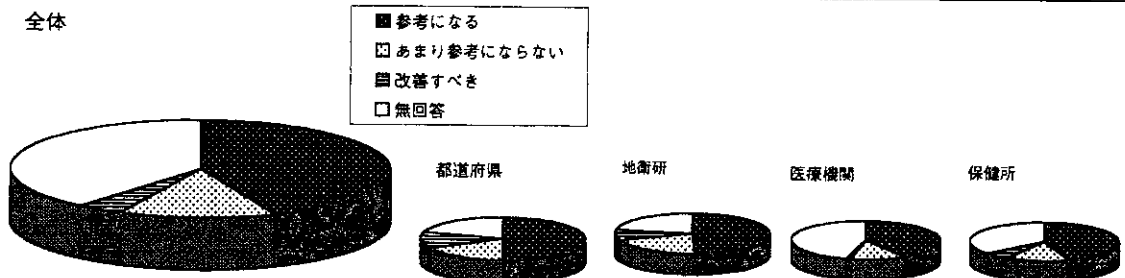
全体



- 10年分の折れ線がまざって見にくい
- グラフにコメントがほしい
- 前年度比較でよい。10週ごとに年比較でよい
- 流行の時期等が分かるので必要
- 線が重なり、見にくい。最近5年間ぐらいにするか、棒グラフにする
- カラー表記はコンピュータを使う担当以外には利用しづらい
- 1ページ当たりのグラフの数を増やして、ファイルを軽くできないか。
- 特別区の省試験所に該当する検査業務以外が多い。
- 抜粋でよいのでは？
- 縦軸一件数、横一年、の様式のグラフも加えてほしい
- できれば数値も取りだせるとよい

データ総覧

	全体	都道府県	地衛研	医療機関	保健所
参考になる	43.7%	50.0%	49.4%	41.2%	44.8%
あまり参考にならない	13.3%	17.2%	19.8%	11.8%	13.9%
改善すべき	3.8%	12.5%	8.6%	1.3%	5.2%
無回答	39.3%	20.3%	22.2%	45.7%	36.1%



- 真の発生報ではない（サンプリングする）が、地区別とする点は評価できる。
- 都道府県の発生状況が分かるので必要
- (参考になる)しかし、データが細かすぎる
- 速報の為、後日データの変更があった場合、過去隔週のデータへの変更が反映されない
- 数字の羅列は読む気がしない。
- 男女別の集計を取り入れてほしいとの意見があります（管内指定届医の意見）
- データのみ、エクセルかCSVで流してほしい
- ページ数が多すぎるのではないか
- wishで取れるのでいい
- 4類の定点分にも累計がほしい
- 増減の印をつける
- 薬剤耐性菌が特に参考になる
- 指定都市の大都市の状況も分かるとよい
- ふだんは見ないがデータの速報として必要な場合があると考えられている

Q10 今後、項目として取り入れたほうがよいと思われる内容がありましたらご記入ください。

- 発生動向調査ではあるが各疾患の症状なども関心のあるところ。例えば今季インフルエンザの特徴、RotaとAdeno40/41の症状の特例などの特集
- WHO,CDCの情報の要約
- MCLS
- 過去のデータの蓄積から当該時期に症例がでると思われる感染症を予報的に表示する
- 各疾患の臨床所見は過去と比較して変化が無いかな否か。
- 症例など